

墨田区立図書館

・コミュニティ会館図書室

Newsニュース



図書館電話案内サービス

TEL : 3612-6048

図書館資料の貸出期間等が変わります！

平成25年3月31日から墨田区立図書館、コミュニティ会館図書室で借りられる本やCDなどの貸出期間と貸出予約ができる数が変わります。

その結果、貸出点数等は次のとおりとなります。

ご利用の際はご注意ください。

資料の種類	貸出点数	予約点数	貸出期間
図書、雑誌	20点	20点	2週間
CD、カセットテープ	10点	10点	2週間
DVD、ビデオ	2点	2点	2週間

他に予約が入っていない場合に限り、返却期限を2週間延長できます。

緑図書館(すみだ文化講座)と資料展【2月】

すみだ文化講座 160 & 写真展

「わが家にTVがやってきた！坂本九やクレージーキャッツの登場」
芸能を通してみる戦後昭和（5）

講師：藤田武司氏

日時：2月17日（日）午後2時～4時

場所：緑図書館

ミニ資料展

「藤田武司特集」

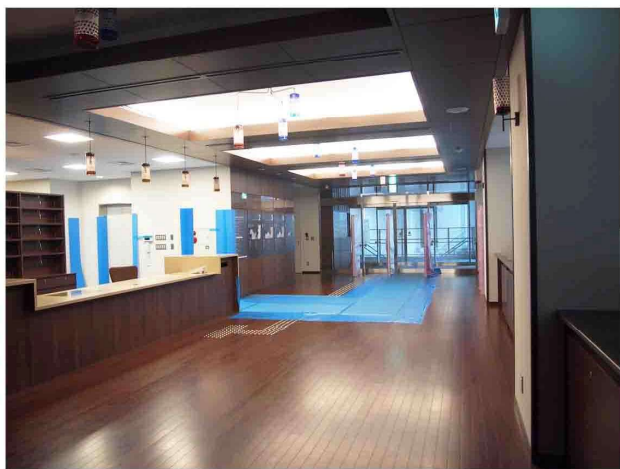
期間：2月9日（土）～3月3日（日）

場所：緑図書館1階、3階展示コーナー

ひきふね図書館突撃レポート！

ひきふね図書館入り口、入ってスグある総合カウンターは、落ち着いた雰囲気で見物者を迎える。二階には、総合カウンターの他に、プロジェクトコーナー、こどもとしょじつがある。

また、自動貸出機や返却機が設置され、貸出・返却が自分でできるようにする。利用者のプライバシー保護にも高い効果があるそう。



▲入ってスグある総合カウンター。よく見ると墨田区ならではのアルモノが！！

そして、ひきふね図書館注目の『自動出納書庫』である。『自動出納書庫』とは、手前のタッチパネルで簡単な操作をするだけで読みたい図書を書庫から運んでくれる便利な機械である。最大二四万冊収納可能で、利用者の希望に応じて図書館員が操作してくれる。ひきふね図書館が開館したら、利用してみたいものの一つだ。

なお『自動出納書庫』は三階で利用できる。



▲うわさの自動出納書庫。

どのような動作をするのか気になります。

新図書館に自動出納書庫現る！？

寺島・あずま図書館から運び込まれた図書は図書館職員の方々の手で一冊一冊丁寧に新しい書棚に並んでいく。まだまだ空の状態の書棚たちだが、少しずつ埋まっていく様を見ていると四月の開館が今から楽しみである。

（プロジェクトリーダー えっちゃん）



▲寺島図書館から運ばれてきた図書。黄色い箱には1箱約70冊の図書が入っているとが・・・。

プロジェクトリーダー・・・

図書館の事業・企画等に積極的に携わるボランティアリーダー

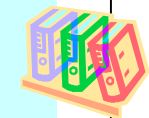
ベストリクエスト

順位	書名	著者	予約数
1	舟を編む	三浦しをん著	303
2	64	横山秀夫著	278
3	虚像の道化師	東野圭吾著	262
4	禁断の魔術	東野圭吾著	260
5	ソロモンの偽証 第1部	宮部みゆき著	258
6	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾著	225
7	ソロモンの偽証 第2部	宮部みゆき著	205
8	空飛ぶ広報室	有川浩著	199
9	聞く力一心をひらく35のヒント	阿川佐和子著	170
10	ソロモンの偽証 第3部	宮部みゆき著	162

寄贈のお願い

予約が集中している資料については、複数冊購入していますが、早期の提供ができない状況です。上記の予約多数図書で、読み終えてご家庭でお持ちのものがありませんでしたら、図書館への寄贈をご検討下さい。ご寄贈いただける場合は、お手数ですが、図書館・コミュニティ会館にお越しの際にお持ち下さい。お持ちいただいた本は、図書館の資料として活用させていただきます。

私の本棚



「ロビンソン・クルーソー」

ダニエル・デフォー著、平井正穂訳、岩波文庫

資料ID 11177412

還暦間近になるが、読書の習慣は続いており、近くの緑図書館を利用している。好きな分野が多いのだが、最近は世界の名著も読むようにしている。「知識の吸収に年齢は関係なし」を掲げて、挑戦している。

読書の習慣が培われたのは、中学の時にアーサー・コナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」シリーズとの出会いにある。文庫本を借りて夢中で読んだ記憶が鮮明にあり、その延長線上にある多くの海外ミステリー作品まで範囲を広げた。1冊読み終わった後には、巻末の解説を読み、作品目録を見て、次はこれを読もう、あれも読みたいとワクワクしたものであり、作品群を制覇していくことにエネルギーを注いでいた。

本を選ぶという行為について思い出されるのは、文庫やハードカバーが並んでいる空間が好きだったことである。大人の空間にいるようで、静かに時間をかけて選ぶことも楽しみになっていったように思う。私にとっては書架というより、贅沢な本棚であつたと思う。読書というと学生の時に出会ったアラビア語を学んでいた友人の言葉が思い出される。アラビア語の格言に「どんな本でも自分の背丈くらい読めば、理解も深まり、奥の深い部分にも目が届く」ようになることの事だ

が、忘れられない言葉になっていく。世の中も便利になったもので、ネットで検索するとあらゆる名著が一覧できる。目線の先にダ

ニエル・デフォーの「ロビンソン・クルーソー」が有った。少年時代に平易に訳された本を読んだ記憶はあつたが、名著に入っているとは知らなかった。

早速、図書館のネットサービスで予約しようとした所、何と文庫本で上下2冊のボリューム。意外な大作であつたのだと再認識した。冒頭は、おぼろげな記憶にあるとおり、難破して一人生き残ることになる。現代風に言えば、「サバイバルゲーム」のスタートである。難破船から生活物資を流れ着いた島に苦勞して運び、島の地形を観察しながら、そこに住む鳥類、動物、自生している植物や鉱物などの資源などを観察、調達しながら生存の為の孤独な戦いが迫力を持って描写されている。

ここまでは昔の記憶にある内容だが、物語は更に続いている。難破した時の若きロビンソン・クルーソーから経済的にも成功を収め、人間的にも成長した老境までの遍歴が数多くの場面、事象を通してダイナミックに描かれている。当時の時代背景を映しているのは当然だが、宗教観を通しての愛、共同体の交流・運営、及び秩序、貿易を通しての経済、資源の大切さとその利用などがきめ細かく書かれている。大げさかも知れないが、宗教、民俗学、経済史、博物学、社会学などの観点から読んでも面白い。そして、作者がロビンソン・クルーソーを通して人間の成長を深い洞察のもとに描いていることに感銘した。名著という抵抗感があるものだが、好きなジャンルの合間に、力を入れずに読んでいくことで、自分の本棚が充実していくように思えてきた。

(プロジェクトリーダー 緑の風船子)

今月の特集コーナー

☆ 墨田区立図書館・図書室では、季節や行事に合わせてテーマを決め、資料を集めて展示しています。

館名	今月の特集コーナー
あずま図書館	今月は特集を行いません
緑図書館	一般書：「大震災から3年目・もう一度災害について考える」 ティーンズサービス〔T.S〕：「冒険者たち」 児童書：「おかし ひとりじめ」
寺島図書館	今月は特集を行いません
立花図書館	一般書：「ヒーロー・ヒロイン」 児童書：2月・3月はお休み えほんのひろば：2月・3月はお休み
八広図書館	一般書：「読み終わるのが惜しい本」「世界をみる」 「読むチョコレート 食べるチョコレート」 児童書：「雪・氷」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「語り継がれる民話・昔話」 児童書：「鬼はそと！春よこい」「さむくてもげんきはつらつ」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「今日からはじめようアンチエイジング」 児童書：「おいしいはなし」
横川コミュニティ 会館図書室	一般特集1：「作家の本棚」 一般特集2：「脱皮のための本」 児童特集：「鬼と神様」「バレンタインコーナー」「～愛～心温まる本」

今月の八広図書館特集コーナー

【一般特集コーナー】



「読み終わるのが 惜しい本」

本を読み耽って、ふと気がつくともう少しでおしまい。そのような経験をされた方も多いと思います。八広図書館ではそのような余韻を残す本を選んで並べてみました。是非手にとって読んでみて下さい。素敵な時間を過ごせるとと思います。



「世界をみる」

テロ、金融危機、異常気象、震災等、インターネットの普及により世界中のあらゆる情報が瞬時にわかる時代になりました。そのような世相、新年を迎え視野広く周辺国を調べたり考えたりするのに役立てるよう特集を組んでみました。



「読むチョコレート 食べるチョコレート」

もうすぐバレンタインデー、チョコレートに対する意識が高まる時です。八広図書館ではチョコレートのレシピや種類に関する本を並べてみました。チョコレートを知るとともに楽しんで下さい。

【児童特集コーナー】



「雪・氷」

みなさんは今年、たくさん雪であそびましたか？八広図書館にも雪や氷の本がたくさんあります。家の中でも雪や氷に触れ合ってみて下さい。

“すみだ”今昔、本の一言

鉄砲と自転車

NHKの大河ドラマ「八重の桜」をご覧でしょうか。山本八重は会津藩の鉄砲指南の山本家の娘ですが、女でありながらどうしても鉄砲を習ってみたいという強い思いが、このドラマのスタートに勢いをつけています。鉄砲というのは、武士に嫌われながらも新時代を切り開いた武器でした。明治になって鉄砲から自転車造った人がいます。

『宮田製作所七十年史』は宮田自転車（現…ミヤタサイクル）の社史ですが、創業者宮田栄助は初めは鉄砲師でしたが、後には自転車製造することになります。栄助は天保11年（1840）に常陸国真壁郡大國村に生まれ、負けず嫌いで気が強かったようです。農業には向かないと思った父は、製銃で名の知れた従兄妹の国友家に弟子入りさせます。栄助は製銃の技法を習得すると、笠間藩の鉄砲師に抱えられて苗字帯刀を許される身分となります。この時の藩主は牧野貞直で勝海舟らと咸臨丸に乗り込み太平洋横断の快挙を遂げたひとりです。墓は墨田区千歳の要津寺にあります。笠間藩は明治政府に忠節をめざしたものの、宗家である長岡藩が官軍に反抗したので、戦後処理に苦労しています。

さて、宮田栄助は明治維新となって役目は解かれ、東京へ出ようと決意します。まず事業資金を得るため人力車の組立てを行います。栄助が東京に出た明治6年当時は、人力車が新時代の乗り物として、脚光を浴びていました。人力車は現在では観光ガイド付きのしゃれた乗り物としてスカイツリーの足元も走っていますから、見た方は多いと思います。長い梶棒で重心を調整して客の乗り心地がよいよ

うに保つ仕組みで、とても人間臭い乗り物です。

人力車を最初に発明した人は、誰と特定できませんが、最初に発明を依頼したのは和泉要助であり、さらに改良を加えて普及させたのが秋葉大助といわれています。秋葉大助は銀座四丁目店を持ち、明治34年には年間5、260輻を生産し、ほぼ全生産高の半数近くを占めています。二代目秋葉大助が本所区菊川町二丁目に新工場を建設したのは明治36年のことです（現在の菊川3、16菊川駅の北側辺）。秋葉大助はダンロップと提携し、ゴムタイヤの普及に努め、その後、ゴムタイヤの自主生産もはじめ、自動車業界にも進出します。

さて、話を宮田自転車にもどします。人力車製造により東京に落ち着く事ができた栄助は、鉄砲鍛冶の経験を活かせる小石川の砲兵工場に勤め高給を得て、ついに、明治4年には銀座に製銃工場を開設します。工場の最初の製品は当時陸軍で採用された村田銃でした。明治22年（1889）に外国人から自転車の修理の依頼がありました。修理は完璧で外国人に感謝されましたが、同時に自転車製造に意欲を持つきっかけとなりました。

明治23年（1890）、銀座では騒音のため工場の動力の許可が下りないため、宮田栄助は、本所区菊川二丁目52番地（現…菊川3、3、11辺）に新工場を起工します。名称も宮田製銃所とし、一ヶ月に500挺の生産を始めます。この頃の菊川は草原のようで、新大橋から工場が見えたといいます。二代目栄助が工夫を重ねて製作した宮田銃は専売特許を得て、獵銃として生産されるようになります。一方で、自転車の試作も続け、ついに1号車を完成させます。舶来品に負けない自信作でした。銃身も車体のパイプも、鋼の丸棒に縦の穴を穿ったものだから、同じ技術が用いられ

た事になります。明治30年代になると、本所中之郷業平町（現…横川1、16辺）の三田土ゴム会社に空気の入るゴムタイヤを造らせ、他に先駆けて自転車で使用しています。本所菊川の宮田工場では捕鯨用の銃も製作していますが、獵銃が規制されるようになり、自転車製が贅沢品から実用になりはじめた明治35年（1902）、銃の生産を廃止し、名も宮田製作所と改称して自転車製造を専門にすることに決めます。初代宮田栄助は明治33年6月6日に永眠しています。享年60歳でした。

人力車製造の秋葉大助の他にも、菊川町には岩城栄助創業の零戦の防弾ガラスも造った岩城ガラスがあり、馬車会社もありました。本所で見れば、マッチの清水誠、ライオン歯磨の小林富次郎、服部金太郎の精工舎、シャープの創業者早川徳次郎などなど枚挙にいとまがありません。江戸からつづく物づくりの職人気質と時代に先駆ける進取の気質が活かされた土地といえると思われます。

参考…

『宮田製作所七十年史』 ID:11089687

『人力車』斎藤俊彦著 ID:111876605（貴重）

『三百藩主人名事典』第2巻 ID:111093334

（真津志麻記）



墨田区立図書館・図書室 2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 横「おはなしのじかん」 15:45～	2 八「おはなしとあそびのじかん」 10:30～ 東「おはなしのもり」 15:00～ 梅「おはなし会」 15:00～
3	4 東・梅・横 コミュニティ 図書室休館	5	6	7 緑「小さい子どものためのおはなし会」 10:30～	8 横「おはなしのじかん」 15:45～	9 八「おはなしとあそびのじかん」 10:30～ 梅「おはなし会」 15:00～
10	11 建国記念の日	12	13 八「おひざでえほん」 11:00～ ♪緑「こうさく会」 15:15～	14	15 横「おはなしのじかん」 15:45～	16 八「おはなしとあそびのじかん」 10:30～ 梅「おはなし会」 15:00～
17 ★緑「すみだ文化講座」 14:00～	18	19 東「おはなしれっしや」 10:30～	20 緑「おはなしのへや」 15:15～	21 館内整理日 全館休館	22 横「おはなしのじかん」 15:45～	23 八「おはなしひろば」 10:30～ 梅「おはなし会」 15:00～
24	25 	26	27	28		

♪13日（水曜日）の緑図書館の「こうさく会」は『ねこのこものをつくろう』です。

★17日（日曜日）の緑図書館の「すみだ文化講座」は、一般向けの講座です。

☆行事の詳細は、各館に直接お問合せください。

*立花図書館は館内のレイアウト変更のため、2月・3月のおはなし会をお休みします。

*あずま図書館はひきふね図書館開館準備のため、1月をもって事業実施を終了しました。

*寺島図書館はひきふね図書館開館準備のため、12月をもって事業実施を終了しました。

●あずま図書館

文花 1-19-1
電話：3612-6048

●緑図書館

緑 2-24-5
電話：3631-4621

●寺島図書館

東向島 3-34-4
電話：3611-4610

●立花図書館

立花 6-8-1-101
電話：3618-2620

●八広図書館

八広 5-10-1-104
電話：3616-0846

●東駒形コミュニティ 会館図書室

東駒形 4-14-1
電話：3623-1141

●梅若橋コミュニティ 会館図書室

堤通 2-9-1
電話：3616-1101

●横川コミュニティ 会館図書室

横川 5-9-1
電話：5608-4500

●すみだ女性センター

押上 2-12-7-111
電話：5608-1771

【開館時間】

● 火曜日～土曜日・・・9:00～20:00

● 日曜日・月曜日・祝日・・・9:00～17:00

☆コミュニティ会館図書室は、

月曜日の開館時間が9:00～20:00です。

☆あずま図書館・寺島図書館は、業務縮小期間中のため受付時間は、

火曜日～土曜日・・・14:00～20:00

日曜日・月曜日・祝日・・・14:00～17:00に変更しております。

【休館日】

● 館内整理日《毎月第3木曜日（祝日にあたる場合は翌日）》、年末年始

☆コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日にも休館日です。